

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年3月6日 第2号

▲△1：古都奈良は日本の宝、若草山を観光開発による破壊から守ろう！

労山奈良県連から緊急の訴え 署名にご協力を

いま、日本の古都・奈良で、古代から守られてきた景観が台無しにされかねない重大な計画を、奈良県が推し進めようとしています。計画によると、世界遺産の春日山原始林に隣接する若草山にミニ・モノレールを敷設し、観光客を呼ぼうというもの。

これには、ユネスコの諮問会議で世界遺産登録の審査にあたる「イコモス（国際記念物遺跡会議）」の日本委員会が「強い懸念」を表明しています。「奈良世界遺産市民ネットワーク」の呼びかけで反対運動も急速に盛り上がり、1月25日には「反対する会」が結成されました。



茶色の部分が若草山。右側の春日山原始林（世界遺産）との境界付近にモノレールを建設するという。

★ ★ ★ ★

春日大社の奥山、春日山原始林は古代から伐採が禁じられ、手付かずの自然が残されていて、世界遺産に登録されています。それに隣接する若草山（342m）は、毎年、新年に山焼きが行われ、多くの登山者にも親しまれてきました。世界遺産のバッファーズーン（緩衝地帯）にも指定されています。

ところが奈良県は、かつては年間40万人もの入山者があったのに、最近では12万人を切るまで観光客が減少していることから、観光振興のためモノレール建設を計画していることが、昨年10月に明らかになりました。それによれば、6人乗りを数両編成して走行させるモノレール（全長550m）を山麓から中腹まで登山道沿いに敷設し、高齢者や障害者など誰でも若草山に登れるようにしようというもの。県は計画を今年6月には正式に決定したいとしています。（詳しくは奈良県公式ホームページ→奈良公園室→「奈良公園基本戦略」を参照）

しかし、「反対する会」などの調査により、この計画は若草山の景観をいちじるしく損な

うおそれが強いことが明らかにされ、「イコモス日本委員会」は1月10日付で、異例の声明を発表しています（資料参照）。

労山奈良県連は、全国の登山愛好者に対して、反対の署名運動への協力を呼びかけています。当面、3月25日まで開催される県議会にたくさんの署名簿を提出したいとしています。その後も集まり次第、どんどん送ってください。緊急ですが、これから各地で県連総会が開催される際などに呼びかけて、多くの署名を集中しましょう。（署名簿は添付参照）

署名簿の送付先→ 〒631-0031 奈良県奈良市敷島町 2-504 豊田 香寿子
(奈良県連事務局長)

▲△2：全国ハイキング交流集会 会場決まる

9/27（土）～28（日） 岐阜市・長良川スポーツプラザにて

今年9月27～28日に予定している「全国ハイキング交流集会」ですが、主管県連と会場が決まりました。主管は岐阜県連に引き受けていただき、会議、宿泊とも会場は岐阜市内の「長良川スポーツプラザ」（右写真：交通手段は岐阜駅よりバス）に決まりました。規模は宿泊50名、日帰りも含めて100名を予定しています。詳しい実施要綱は、決まり次第、お知らせします。

